

板橋区長 坂本 健 殿

高島平地域のまちづくりへの要望

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年度から取り組まれている高島平地域のグランドデザインにおいて、若者世代やファミリー層の誘致・定住化や交流人口の増加を図り、超高齢社会を見据えた「健康で楽しく住み続けたい、住み続けられる“まち”」をめざし、ハード・ソフトの両面から、これからのまちづくりを進めるための全体構想づくりに着手されております。

については、下記の課題について東京都や関係機関との連携を深め、実効性ある整備に向けた可能性の検討をなされるよう要望致します。

1. 流通業務団地（高島平六丁目）の機能の高度・効率化と敷地の高度利用
特に、トラックターミナルの再整備の検討において、物流機能の高度・効率化とともに、規制緩和に基づく商業系施設の誘致やトラックターミナルの重層化並びに、駅と施設の一体整備等による有効活用等の可能性についてご検討下さい。
2. 三田線の高架下を“にぎわい”モールに
三田線の高架下を含む沿線を、地域の重要な軸線としてとらえ直し、連続的な活用を視野に入れた、区内外からの来訪者でにぎわう多種多様な商業施設や、待機児ゼロを実現・維持していくための保育施設の誘致等についてご検討下さい。
3. 三田線沿いの緑地帯（西台駅～高島平駅）を憩いのエリアに
三田線の高架下に展開する「にぎわいモール」との一体整備についてご検討下さい。
4. 都立赤塚公園の更なる充実
公式競技が可能な競技場の整備や公園としての更なる機能の充実をご検討下さい。
5. 長期的な視野に立ったUR都市機構との成長戦略の展開
区有地（高島平三丁目）の最有効使用を前提とした再整備を契機として、公共施設等の集約・複合化を図るとともに、UR都市機構と連携して、地域全体が発展していく戦略を打ち出すことをご検討下さい。
6. 三田線の利便性の向上
朝夕の通勤時の増便、車両混雑緩和や駅の利便性向上、住環境の快適性向上に伴うUR都市機構住宅を含む地域全体への多世代の転入促進についてご検討下さい。
7. 自転車・歩行者分離等による地域回遊性の向上
地域内の都道、区道の分離歩道の整備や、車道内の自転車優先走行等の整備、歩いて楽しい歩行者空間づくりの可能性についてご検討下さい。
8. 三田線沿線の各駅周辺の特徴づくり
駅ごとに特徴を持たせた駅周辺エリアの再構築や、途中下車したくなる駅周辺施設・集客スポット等の整備の可能性についてご検討下さい。

以上